

9月定例千葉県議会

【公社等外郭団体不正経理問題、公社改革について】

《小宮清子さん》



再発防止策の一つの柱として、公社等外郭団体人事で県OBの天下りを廃止することを明確にあげることが必要と考えるがどうか。

団体から要請があった場合、適任者がいれば求人情報を紹介しております。退職者の採用は、それぞれの団体が判断している。

(石渡副知事)

外郭団体から要請があって、適任者がいれば求人情報を紹介しているとのことだが、これ自体が問題なのではないか。根本から直すには、このことを見直さなければならないのではないか。

あくまでも適任者がいれば、求人情報を紹介しており、県の退職者の採用は、それぞれの団体に判断されている。

(石渡副知事)



適任者がいると判断するのは県側であると受け取れる答弁と思います。ということは、各団体側では、その求人に対する応募を拒否できないのではないのでしょうか。

消耗品支出以外にも「預け」などが確認されているが、修繕費、資材購入費、製本費、さらに旅費、賃金など範囲を拡大して調査すべきと考えるがどうか。

一つの公社において消耗品支出以外の不適正額が認められたが、4件、13万9千円と小額であったことから・・・新たな調査は予定しておりません。

(石渡副知事)

小額であれば、不正があっても「問題ない」とも受け取れる答弁だと思います。「このぐらいなら」という安易な考えが繰越手続き漏れの原因にも繋がり、また、その積み重ねが40億円以上の不正経理にも繋がってきたと思います。この発言は、コンプライアンス意識の徹底と言うならば、決して許すことのできない発言だと思います。



まちづくり公社の預けで、一品の納品も無いのに検収印の文書が存在している。これらは明らかに虚偽文書に該当する。金額が多い少ないの問題ではなく、厳密な調査を行うよう指導すべきと思うが、どうか。

一部不明な点や、不突合の部分もかなりあり、調査が不十分な点もございました。不突合部分について推定を行うなど、不適正額を増やしまして、可能な限りの調査をいたしましたので、ご理解を賜りたい。

(小宮総務部長)

まちづくり公社の消耗品以外の「預け」は氷山の一角に過ぎないと思います。「調査」と追及すれば、「推定額を増やした」で納得できるものではないと思います。まだまだ、いっぱい隠しているなと感じました。



【県土整備常任委員会における公社等外郭団体不正経理問題について】(9月14日)



校舎等外郭団体の不正経理で消耗品以外でも「預け」が確認されている。副知事は県として所管する主務課を通じて指導、監督と強化してまいります。」と答えています。常任委員会の冒頭で県土整備部長が「公社等外郭団体や出先機関に対する指導の徹底を図ってまいります。」と明言されています。

額は小額であろうと、修繕費、資材購入費、製本費などについても「預け」が見つかったわけですから、県土整備部が所管する公社等外郭団体に「調査をきちんとしろ」と指導する立場から申し入れることが必要と思うがどう考えるか。

お示した内容が全てであろうと考えております。防止策が適切に実行されるように確認してまいりたいと思います。
(県土整備政策課長)

川本さんがこれを指摘してから1ヶ月、十分な調査がされてもいないでしょうし、これで全てとは、何を隠しているのでしょうか。



8月20日の審査の中で、平成17年度の全額「預け」の例を示しながら、・・・調査したらどうかと問いましたら、平成17年度は古くてわからないと、わからないが全て担当者の判断で行われたという答えがあった。**平成20年度の「預け」の伝票について、まちづくり公社に調査するようにと指示していただきたい。**

当時の総務担当職員に電話したり、面談をして確認をした。自分の判断で処理をしたということです。**現時点では、これは全て完了したものとみなした**おります。(県土整備政策課長)

8件の伝票ナンバーを示して

県庁の不正経理問題でも、17年度ぐらいなら、聞き方によって、きちんと聴取されています。なぜか、**早く終わらせたい意識**を感じます。



建設技術センター「未払い金の計上について」財務規程に反する処理が行われていたことが、8月20日の審査の中での川本さんの指摘から判明しました。これについて**財務規定に反する会計処理が多数の人の目に触れながら、なぜ、まかり通ってきたのか。**

大変遺憾であり、申し訳なかったと思っております。現在、会計システムについてはソフトの回収をしており、年内にこの作業を終える・・・適正に経理処理されるよう指導してまいります。



「未払い金計上」が財務規程と違った方法でされていたことについて、8月の閉会中の常任委員会で川本さんが指摘したことです。川本さんが指摘しなければ、今もずっと、財務規程に反する処理が行われています。川本さんは緻密な調査によって、県や他会派の議員が見逃しているたくさんの方のことを指摘し、改善を図ってきています。まだまだ、隠そうという姿勢が見られる県ですが、きちんと調査をすれば、わかることだと思います。